



公民館報

海陽

2月号
No.99

文化村HP
QRコード



QRコードに
アクセスすると
海南文化村HPが
閲覧できます。

海陽町教育委員会 2024年2月1日発行

海陽町20歳を祝う会



令和6年 海陽町20歳を祝う会

令和6年1月2日(火)午後1時から海南文化館ホールで、令和6年海陽町20歳を祝う会を開催しました。この日、本町から89名(参加者68名)が、人生の節目となる新たな第一歩を踏み出しました。

当日は穏やかな晴天の下、式典を迎えることができました。コロナ禍の昨年までは感染症対策を講じて

実施していましたが、本年はコロナの5類移行により、4年振りに制限の無い形で20歳の若者



谷本 基希

山田 水加

山田 水加

たちの門出を祝うことができました。

三浦茂貴町長初め来賓の方々からの温かい励ましのことばを頂き、成人の皆さんは、強い決意で謝辞や将来への抱負を述べられました。

式典後は恩師との再会の時間も過ごし、久しぶりに顔を合わせた旧友たちと心行くまで楽しい一時を過ごしました。



記念品を受け取る 原 優香さん

新成人代表謝辞



寺崎 悠雅さん

本日は私たちのためにこのように盛大な二十歳を祝う会を開催していただき誠にありがとうございます。三浦町長様をはじめ多くのご来賓の方々にご臨席を賜り、お祝いや激励の言葉などを頂きまして新成人を代表して心より御礼申し上げます。

昨年とは異なって新型コロナウイルスの影響が緩和されたことにより、オンライン授業や黙食、マスク着用の義務といった様々な制限から解放され、友人や家族と会話を楽しめることに喜びを感じています。これもひとえに医療従事者をはじめ、最前線で活動されている皆様の並々ならぬ努力があったからこそだと思います。この場を借りて改めて感謝を申し上げます。

私たちはこの自然豊かな海陽町に生まれ、この土地で様々な発見や経験をしてここまで成長し、小中高ともに学んだ仲間と今ここに立っています。この当たり前のような幸せも今まで育ててくれた家族、時に優しく時に厳しく教え導いてくださった先生方、幼いころから見守り支えて下さった地域の皆様の支えによるものであることを深く感謝し、心より御礼申し上げます。

私たちは「二十歳」という大きな節目を迎えましたが、社会人としてはまだまだ未熟です。学生として勉強中の者、すでに就職をして仕事に毎日奮闘している者など、おかれている立場は違いますが、それぞれが自身の目標に向けて一歩一歩歩んでいる最中です。これからも人との関りや感謝の気持ちを大切に、自分も社会人として誰かの支えになれるよう日々精進していくことを誓い、謝辞とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。

将来への抱負



皆様、新年明けましておめでとうございます。

本日は私たち新成人のために、このような盛大な式典を挙げていただき、心より感謝申し上げます。

二十歳という人生の大きな節目を迎え、これからまた新たな一歩を踏み出そうとしている今日の日を、この海陽町で共に過ごした仲間と、迎えることができましたことを大変うれしく思います。また、三浦町長をはじめ、ご臨席の方々からお祝い、激励のお言葉をいただき、新成人として責任の大きさに身の引きしまる思いです。

私は現在、阿南高専の建設コースに在籍し、建築や土木、防災といった建設に関する様々な分野について学び、あと数ヶ月で卒業を迎えようとしています。たくさんの良き友人にも恵まれ、最高に楽しい五年間を送ることができました。

私は小さいころから人の命を助ける仕事に憧れていました。

高専に進学してからは企業への就職も考えましたが、自分が生まれ育った町の役に立ちたいと思い、卒業後、四月からは海部郡で消防士としての道を歩むことになりました。

私は小学校から水泳を始め、中学卒業まで、宍喰の大西君とともにほぼ毎日、放課後や早朝に阿南まで練習に行く日々でした。阿南高専に進学してからの五年間も含め、約十年間、水泳競技に取り組みました。どんな苦しい練習にも耐え、競技者として、また、ひとりの人間として成長できたのも、水泳を通して切磋琢磨し合った仲間がいたからです。

これまで出会った仲間、友人、先生方や地域の方々、すべての

人たちに支えられて私は成長し、憧れであった消防士になることができました。これからは私が、この先、出会う人々にとって良い影響を与えることのできる存在へとなれるよう、日々精進して参ります。この先、未知の困難や挑戦が必ず起こりうることは理解しています。そのことを考えるたびに、私の心に、この町への思いが力となり勇気を与えてくれます。海部郡の消防士として、阿南高専で学んだ知識と、水泳で培った忍耐力と精神力を生かして海陽町をはじめ、海部郡の人々が安心して暮らしていけるよう、環境を守り、人々を支える一員として心・技・体を尽くして取り組んでいきます。一步一步、確実に成長し、進化し続けていきたいと思えます。

最後になりましたが、どんな時も自分がやりたいうことを最後までそばで見守り、応援してくれた両親、いつも最大の愛情で可愛がってくれた、じいちゃん、ばあちゃん。

優しく、時には厳しく指導してくださった先生方、同じ時間を共に過ごした友人、地域の方々をはじめ、すべての皆様へ改めて心より感謝申し上げます。まだまだ未熟な私たちです。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上をもちまして、簡単ではございますが、将来の抱負いたします。

本日は誠にありがとうございます。



皆様、新年明けましておめでとうございます。本日は、私たちのためにこのような素晴らしい式典を開催していただき、誠にありがとうございます。ここ海陽町で、皆さんと共にこの瞬間を迎えることができ、大変嬉しく思います。

私は現在、高知大学地域協働学部在籍しており、日々の勉強や地域実習に励んでいます。二年生から始まった地域実習では、南国市の稲生という地域で四人の仲間と共に活動をしています。具体的には、定期的に開かれる地域住民の交流の場であるサロンへの参加やレクリエーションの実施、地域の情報誌である「いなぶつく」の作成などを行っています。

今後は稲生で一年間活動してきて見つけた問題をもとに、そ



の課題を探りながら企画を練り、地域住民と協働しながら実践していきたいです。

将来の夢は具体的に決まっていませんが、地域協働学部での学びを活かせる職業に就きたいと思っています。私は、家族や周囲の人に喜んでもらうために、自分に何が出来るのかを考えることが好きです。そして実際に笑顔が見られた時には、自分も喜びを感じます。そのため、個人に寄り添い、その人の人生に彩りを加えられるような仕事をしたいです。



この夢を叶えるため、私はこれから自己成長を続け、誰かのために役立つ存在になることを目指していきます。また、これまで私を支え、愛情を注いでくれた家族、道標となり大学まで導いてくださいました先生方、温かい目で見守ってくださいました地域の方々から学んだことへの感謝を忘れず、自分の道を歩いていきます。これからの道は困難なこともあるかもしれませんが、私はその挑戦を楽しみながら受け入れ、成長し続けていきます。

最後にはなりますが、今日という素晴らしい日を迎えられたのは多くの方々の支えがあったからです。本当にありがとうございます。また、今後ともご指導、ご鞭撻を頂けますようお願い申し上げます。皆様の未来が輝かしい日々になることを願って、誠に簡単ではございますが、将来の抱負とさせていただきます。本日はありがとうございます。



皆様、明けましておめでとうございます。本日はご多忙の中、私たちのために「20歳を祝う会」という盛大な式典を挙げてくださり誠に感謝申し上げます。

この町で共に過ごした仲間たちとともに、この瞬間を迎えることができ、この上ない喜びを感じています。

現在、私は香川大学・教育学部・家庭領域に通い家庭科や教育のことについて深く学んでいます。私がこの道を選んだ理由は、家庭科教師として徳島に戻り、お世話になった穴喰中学校、海部高校に教師として地域に貢献したいという夢を叶えたいからです。

私がつ通っていた穴喰中学校には家庭科の先生がいませんでした。そこで、小学生のころから好きだった家庭科の先生になり

地元に戻り地域に貢献したいと思いい家庭科教師を志しました。家庭科という教科は受験科目でもなく家庭科を学ばなくても家事ができる人はたくさんいると思います。しかし、家庭科を学ぶことで子どもたちのより良い自立に役立つと感じています。

私の目指す教師像は、家庭科教師として自立をサポートしながら子どもたちの、よりどころになれるような教師です。また、子どもたちには地元愛を強く持つてほしいと思っています。そこで、授業の中では地域と連携し



た内容を取り入れ地元愛のある子どもたちを育て、将来、またこの地域に戻ってきたいと思えるような授業をしたいと考えています。

必ず、この家庭科の教師になるという夢を叶えて地域に恩返しし、成長した姿をお世話になった方々に見せられるよう、日々精進していきます。

最後になりましたが、20年間温かく見守り支えてくれた家族、先生方、地域の方々に改めて感謝を申し上げます。これからも私たちを応援してくださいますと幸いです。以上を持ちまして将来の抱負といたします。

本日は誠にありがとうございます。

2024年(令和6年) ^{はたち}海陽町20歳を祝う会名簿 (敬称略)

海南地区

嵐 千 隼
有 田 尚 未
伊賀原 彩 華
石 元 貴 彦
伊 藤 虎 輝
岩 佐 天 翔
井 上 真 彩
蛭 子 二 葉
大 石 涼 弥
岡 川 涼 弥
奥 村 なつみ
小 田 航 也
海 部 円 香
角 田 成 美
川 田 悠 加
川 畑 れ 佳
岸 本 川 千
北 川 元 充

佐 藤 晴 海
申 川 敏 奨
高 間 晴 暉
DO TIEN HOA
長 尾 由 子
中 島 大 樹
中 西 孝 太
中 野 華 汰
西 尾 洸 輝
西 沢 真 輝
西 宮 まひろ
新 田 奈々子
乃 一 奈 桜
濱 口 優 菜
早 川 逸 輝
原 優 香
東 駿 平
平 野 学 恵
藤 木 祐 太 朗
藤 倉 匠 人

藤 本 翔 夢
本 田 廉 汰 郎
松 本 直 大
丸 本 佑 理 子
向 井 綾 渚
山 岡 詩 月
山 戸 亜 歌 音
山 本 絢 斗
山 本 大 心
横 澤 州 風
吉 田 佳 乃 子
LO VAN HUNG
海 部 地 区
VO DUY THANH
叶 岡 音 誉
亀 井 陽 満
木 戸 口 真 心
NGUYEN THI PHUONG
NGUYEN PHUONG NAM
清 水 哉 汰

谷 本 翔
TANG VAN HUNG
中 野 雅 生
乃 一 陽 大
野 畑 隆 輝
BUI THI HOA
松 吉 一 心
矢 野 浩 輝
山 田 毬 加
安 室 弦
大 黒 雄 大
大 西 航 志 郎
岡 此 の み
片 岡 大 芽
川 邊 優 花
河 内 愛 果
重 田 朋 美
島 田 星 那
瀬 戸 俊 之

高 木 秀 梧
谷 岡 佑 之 丞
寺 岡 紗 菜
寺 岡 悠 雅
坂 東 菜 穂
平 田 花 里
廣 田 勝 輝
松 吉 玲 菜
森 大 輝
安 井 大 太
山 口 蒼

海南地区 51名
海部地区 16名
宍喰地区 22名
合計 89名
うち 男性48名
女性41名

4年ぶりに共楽運動会を開催しました！

10月1日(日)、3年間コロナ禍の影響で中止になっていた共楽運動会を開催しました(宍喰、海部、川東、浅川の4地区で開催)。日頃の運動不足の解消と、体力づくりに、そして地域の親睦を深めるために、競技する者も応援する者も夢中になって、楽しい時間を過ごされたのではないのでしょうか。

グラウンドの整備、そして準備から片付けまで、各地区公民館を通じて多くの方々にお世話になりました。皆様お疲れ様でした。





川東公民館



浅川公民館



令和5年度文化祭が開催されました！

10月29日(日)、芸能大会(一般の部)が文化館ホールで行われました。年少者から高齢者まで、活気あふれる演技が次々と披露され、客席から大きな拍手が送られました。11月11日(土)には、芸能大会(学生の部)が行われ、コロナ禍による制限もなくなり、舞台芸能の復活に向けた新たな一歩を踏み出しました。11月3日(金・祝)から5日(日)まで、宍喰町民センター、海部公民館と海部庁舎、海南文化村で作品展示が行われ、町民の数々の作品が来場者等の目を楽しませていました。

5日の最終日には海南文化村で商工産業祭が開催され、例年以上に多くの人出があり、4年振りにお茶席も開かれ、賑やかな一日になりました。その他にも囲碁大会、民話紙芝居に加え、4日(土)には今年度第1回となる海陽町文化祭俳句大会、23日(木・祝)には、海陽町立図書館との共催による絵本の読み聞かせの「大人のためのおはなし会」が実施され、文化祭の新しい取り組みが生まれました。

大人のためのおはなし会



作品展示 《海南会場》



《海部会場》



《宍喰会場》



芸能大会 《一般の部》



バンド演奏



バレエ



民踊



インドネシア空手

歌唱



ダンス



詩舞



《学生の部》

海陽中学校プラスバンド部



フラダンス



海部高校ボランティア部



海部高校ダンス同好会



海部高校演劇部



海部高校郷土芸能部

4年ぶりに分館巡回人権学習会を再開

【お礼】

令和5年度分館巡回人権学習会を11月に4年ぶりに開催したところ、沢山の方々にご参加していただき、誠にありがとうございました。今年度のテーマは、「高齢者の人権〜認知症を共に生きる〜」とし、高齢者を取り巻く様々な人権課題、特に介護も含めて認知症理解について話し合いました。学習後、大変身近な問題であり、支える家族の思いや地域社会との連携などへの理解や協力の大切さなど、前向きな心温まるご意見を沢山いただきました。課題はまだまだあると思いますが、一人で抱え込まず、相談できたり支え合ったり高齢者や互いを尊重し合い、少しでも心の負担を軽減でき、住みよい海陽町コミュニティであってほしいと願っています。

約1ヶ月の間、運営等に携わっていただいた方々、地域のみなさま方に紙面をお借りして感謝申しあげます。

ありがとうございました。

【海陽町人権教育協議会】



10月3日(火)〜10月27日(金)に、町内30か所で分館巡回人権学習会を開きました。「高齢者の人権」〜認知症を共に生きる〜をテーマにしたDVD『ここから歩き始める』を視聴し、超高齢化社会への対応に即した身近な人権について学習しました。夜間にもかかわらず、合計332名の方にご参加いただき、テーマについて意見交換を行い、和やかに学習ができました。

参加者のアンケートより、ご意見ご感想を少しご紹介させていただきます。

- ・身近な問題だと思う。認知症も人それぞれ抱えているものが違うので、この様な機会に今日のような話し合いを持つことが出来るのが、理解の第一歩だと思う。

- ・やはり「町ぐるみ」ということは、必須かと思っただけでなく、みなど見守れるような町にしていきたい。

- ・認知症は誰でもなる可能性があり、家族は本当に大変だと感じた。でも、認知症を正しく知り、認知症の方々への理解を少しでも自分自身進めて

いきたいと思った。地域のつながりの中で、まわりの人がサポートできるコミュニティであるべきだと思った。行政の仕組みも大切だが、地域の見守りも大切だと思った。

- ・家族だけでなく、近所の人や地域のサービスなど、関わる人のたくさん助けや情報を得られやすい取り組みが、住みよい町づくりにつながると思う。

学習会の成果が実践につながるように、地域住民の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

【お知らせ】



2月4日(日)午後2時より、海南文化館ホールにおいて、大島花子さん(坂本九さんの娘さん)による人権コンサート「うつくしい、命」を開催します。たくさんのご来場をお待ちしています。

地域コミュニティの中で

（令和6年2月）

―様々な体験や触れ合いの場において―

社会教育指導員 小泉 博

家族団らんの平穏なお正月、突然襲った能登半島地震により、未曾有の大惨事となり、多くの尊い命が奪われた。また、翌日に起こった羽田空港での飛行機衝突事故。

旅客機の乗員は全員無事に脱出できたが、海保機の乗員が亡くなった。この機は、能登の被災地へ支援物資を運ぶため離陸しようとしていた。この2日間の大惨事に、亡くなられた方々の無念やそのご家族の心情、被災地の先の見えない不安等を想像すると、察するに余りある。

私は、航空機事故報道の度に思い出す光景がある。38年前の8月12日、友人に会いに行くため、紀伊山中を伊勢を目指して車を走らせていた。相棒は、薄給で買った15万円の中古車トヨタスターレット。人生の第一号となるマイカーだが、難儀なのがエアコン故障でカーナビやCD等はもちろんない。全開にした窓から入る熱風を受け、ラジオを聴きながらドライブを楽しんでいた。日が暮れかかり、到着が遅れていることに不安を感じ

ていた時、緊急ニュースが流れた。『日航機墜落事故』である。

アナウンサーの声からも混乱と緊迫した状況を感じ取れ、突然の報道と事の重大さに思わず声を上げた。原因は何か、どこに墜落したのかなどしばらく情報が錯乱していたが、満席状態のジャンボジェット機ともなれば何百人もの命が……想像するだけで恐さと不安が増幅し、走らせる車の中で一人胸が締め付けられていたのを今でも思い出す。

『人の命には限りがある。』

今、光っていたい。』

（『娘の遺してくれたもの』引用）

その限りがいつくるか誰も知るよしもない。ささやかでも静かにその限りがくるのを願うが、事件事故に巻き込まれたり、人が人を殺し殺されるのだけは避けたい。しかし、地球上では、分断と対立が進み、ロシアによるウクライナ侵攻、イスラエル・パレスチナ問題、また、アフガニスタンやシリア、イラク内戦等、世界各地

で命を奪い合うだけでなく、それに伴う食糧問題、病気や感染症、難民問題等、命という最大の人権侵害が行われている。何の罪もない人々が、ただその地で夢を追いつつ平凡に暮らしている人々が、特に女性や子どもが、毎日何人もの命が奪われている。人類は幾度、戦争の悲惨さとその末路を経験してきたのであろうか。国の指導者とは、国民の生命を守るのが最大の責務ではないのかと今の世界情勢に強い憤りと未来への深い憂いを感じている。

『人々はいつの日』

このあやまちに

気付くのであろうか』

江口いとさんの言葉である。戦争はもちろんだが、様々な人権問題でも同じあやまちを繰り返してはいないだろうか。他人事・遠国の問題ではなく、自分も深く関わっていることを理解しなければ、長年にわたり積み重なった環境破壊や地球沸騰化のように日本や世界各地で取り返しのつかない甚大な被害が出る。国ごとという考え方でなく、同じ地球で生きる者同士として、命の尊さや様々な人権問題にしっかりと目を向けなければと。

次の『娘の遺してくれたもの』は、日航機事故で娘さんを亡くした父親が記したものです。ご一読いただければ幸いです。

娘の遺してくれたもの

田中 蔚

花嫁の衣装を着せて

茶毘にふせし

遺骨を抱きて

など微笑める

一九八五（昭和六〇）年八月十二日、娘が（※）日航機墜落事故で遭難した。娘は体育の教師をしていた。御巢鷹山の山奥で傷があれば自分で止血し、夜露を飲んででも必ず生きているにちがいない。そう信じて現地へ馳せつけた。事故は凄惨を極め想像を絶していた。バラバラ遺体の中を気が狂ったように探し求めてわが子にやっとなりに巡り会えたのは七日目であった。「どんなに変わり果てた姿であろうと、せめて一晩わが家の畳の上に寝かせてから葬ってやりたい。」という妻を説いて遠い高崎の地で茶毘にふせした。来春の結婚式に夢みたであろうウエディングドレスを着せ、好きだったテニスのボールを左手に握らせて……。

一条の煙と共に白骨と化したその遺骨を抱きしめた時、とめどなく流れる涙と共に「よう帰ってきたのう。」と思わずほほえんだ私。

一緒に同道した婚約者の姿がいじらしかった。彼はこの事故の一月ほど前に「愛子さんとの結婚を認めてください。」とわが家を訪れた。「うちは同和地区ですよ。」「愛子さんから聞いています。両親がお盆にお願いに来るはずですよ。」これが彼と交わした最初の会話であつた。

そして、奇しくも遺体収容の藤岡市の体育館で両家の親が対面した。私が同和地区に触れたとき、お父さんは「私は教師です。少なくとも人さまに平等を説く人間として自分を偽るようなことはようしません。」といわれた。私は返す言葉もなかつた。

娘の縁談を聞いたとき「それでも親戚の中には反対の人がいるかも」とか「娘が先々思い悩むのでは」と、あれやこれやと思ひ過ぎしていた自分が恥ずかしかつた。こんなお父さんや彼だからこそ「わたし部落の生まれなんよ。」と重い言葉を打ち明けることができただろう。「これからも息子をお宅の家族の一員に加えてお付き合いをさせていただきます。」とお父

さんはおつしやつた。

お盆休みの休暇が切れ、いくら勧めても彼は職場に帰ろうとしなかつた。疲れはてた妻の肩をもみ、私に濡れタオルを絞り、買物や電話の対応や遺体の確認に奔走した。

四十九日がすんでから、彼は半畳分もある大きな娘の肖像画を持って来た。娘の面影が鮮やかに描かれていた。「仕事の合間に毎晩絵筆をとる間だけが心休まる時なんです。愛子さんに会いたくなればこの絵を見に来ます。」と。四十九日の一つの区切りに思いを断ち切らせたいと願つた私だつたのだが。

十一月の連休には彼は泊まりがけでやって来た。生まれて初めての稲刈りや脱穀を手伝ってくれた。「これで来年田植えをすれば、僕もひとかどのお百姓さんになれますかね。」とも言つた。あれから数か月、やがてその田植期がやってくる。

遺体が見つかるまでの一週間、娘が神戸を発つ時の服装や持ち物、歯型などの情報を持って数人の友だちが阪神や和歌山から駆けつけてくれた。いずれも大

学時代やその後のスポーツ仲間だつた。葬式がすんでからも四国や岡

山から友だちが訪ねてくる。友情とは何なのか。愛とは何なのか。ひとかどに愛の道を人に説いてきた私に果たしてそれが出来るのか。愛とは人に説くことではなく、行うことなのだ。それを私は教えられた。

人の命には限りがある
だから自分の思うように
に生きたい
人は軽く、十年先、
二十年先を口に
するけれど
そのときを大切に
しなれば
今、光っていたい

娘の絶筆である。
「今、光っていたい」の思いを遺して娘は還らぬ人となつてし



まった。朝夕仏壇に合掌するたびに、唱えるべきお経を知らない私はこの詩を口ずさむ。いつの間にかフシのつくようになつた詩を口ずさみながら、私は水

人を愛し愛さる人に育てよと
名づけし「愛子」
空に散り逝く

(※)日航機墜落事故・・・
1985(昭和60)年8月12日月曜日、18時56分に、東京(羽田)発大阪(伊丹)行123便、満席のジャンボジェットが、群馬県多野郡上野村の高天原山の尾根(御巢鷹の尾根)に墜落した事故である。

乗員乗客524名のうち死亡者数は520名、生存者(負傷者)は4名であつた。死者数は、日本国内で発生した航空機事故では、2023(令和5)年3月の時点で最多であり、単独機の航空事故でも世界最多である。

【出典文献】
徳島県中学校人権教育研究会
「わたしの願い」

全国公民館研究集会広島県大会に参加しました

10月12日(木)～13日(金)、『第45回全国公民館研究集会広島県大会兼第45回中国・四国地区公民館研究集会広島大会』に参加するため、海部公民館乃一館長、浅川公民館大東館長と、地域つながり課池田課長以下3名が同行しました。

「学びから始まる地域づくり ～新しいコミュニティの創造～」がテーマに掲げられ、会場の広島国際会議場で全体会と翌日の分科会を聴講しました。記念講演では、地域との持続的なつながりをウェルビーイング(幸福感が続く状態)にすることの大切さを学び、今後の公民館活動に活かしたいと考えています。



分館の活動紹介

1月14日(日)の早朝、大里八幡神社下の浜で、小正月の年中行事である左義長を行いました。地域の子供達の手で夜明けの午前6時に点火、勢いよく炎が立ち登りました。60名余りが左義長の周りを囲み、暫くして恵方の方角に立てた竹の鳥居の上に倒すと、紅白の短冊の笹を取り、持ち帰りました。日が昇り始めると、竹の先に餅をはさみ、みかんを刺し、左義長の火で焼いた福餅やみかんを食べ、一年の無病息災を祈りました。

前日には、地域から人が集まり、シダ・竹の採取と搬出、本柱飾り付けと組み立て作業をしました。掛け声に合わせて、参加者が協力し合いながら準備した材料を使って組み立てました。



当日早朝



前日準備

今年は左義長の実施にあたり、本年度新たに創設された海陽町伝統文化継承・地域活性化等補助金を事業の一部に活用しました。

その他に、公民館活動として、夏祭りも合同で行っています。

松原公民館長
畦内吉郎

わが町の史跡探訪 【海部城跡】

鞆浦漁港の背後の丘陵は城山と呼ばれ、かつて海部城（別名鞆城）が築かれた場所である。戦国時代の1570年頃から、阿波九城の一つとして廃城になるまでの約70年間、海部氏、落城後は長宗我部氏、蜂須賀氏配下の家臣たちが居城した。紀伊水道と海部川河口の接点に位置し、中近世における県南を代表する名城跡である（海陽町史跡 昭和51年1月20日指定）。

早くも室町時代には、兵庫方面へ特産物の木材（樽）を阿波国一積み出していた鞆（トモ）の湊が、赤松（アカマツ）の地名とともに確認でき、海部小学校の赤松グラウンドの呼び名で残っている。当時の海部城は、城山を取り巻くように二手に分岐した海部川の流れが水堀の役目を果たし、鞆湊と一体化した水軍の根城に相応しい、まさに海城としての特色を持ち合わせていた。



初代海部城主の海部友光は、戦国の名将三好長慶の父元長の娘婿であったと云われ、海部城を築いた頃に、平島（現那賀川町の地名）からは室町幕府第14代将軍、阿波公方の足利義栄が誕生している。

海部城跡は元来、紀伊水道を股に架け、阿波から上洛を志した戦国武将たちの栄華の一端を感じとることができる古城跡の一つである。周辺の町並みの景観を含めた観光資源として更なる保護活用が必要な史跡（歴史遺産）である。

海陽幼稚園だより

花壇にパンジーを植えたよ！

11月27日（月）の朝、海陽幼稚園の園児たちが花壇にパンジーを植えました。時折小雨が降る中、婦人会の皆さんに教わりながら鉢から花を取り出し、小さな手で一つひとつ丁寧に土の中に植え付けました。



大里松原でマツの苗木を植えました！

12月17日（日）の午前中、町内での津波避難訓練後、松原町民グラウンドに子どもから大人まで約100名が集まり、大里松原海岸においてクロマツを植樹しました。

10班に班分けされ、参加者たちは区画された各場所で土を掘り起こし、一つひとつ苗木を植えていきました。

津波来襲にも備え、毎年地道に植え続けてきたマツの苗木が日々生長していくのを、みんなで見守っていきましょう。



第69回青少年非行防止県下中学校生徒弁論大会・
令和5年度少年の主張徳島県大会優秀賞受賞



「なりたい自分を生きる」

宍喰中学校3年 松島綾花

中学2年生になって間もない頃でした。私は、友達のことを少し怖く感じるようになっていました。登校し、教室に入ったとき、友達と目が合うとふっとそらされたような気がしました。

「あれ？どうしたんだろう？何か気に障るようなことをしたのかな。」

と悩んだり、必要以上に気をつかったりして、しんどい毎日が続きました。けれど私はその理由を尋ねることができず、あいまいな気持ちのまま時間が過ぎていきました。

また、部活動では、先輩たちが引退し、私がキャプテンとしてチームをまとめる立場になりました。新チームになり、技術面以外でも課題はたくさんありました。今までの先輩はキャプテンとして言うべきことを伝え、私たちに注意してくれていました。当然私も、言うべきことは先輩を見習って、との思いがありました。けれど、いざ伝えようとする

「裏で陰口を言われたらどうしよう…。」

「後輩に嫌われたらどうしよう…。」

と自分が傷つくことを恐れて、言葉にすることができませんでした。まだ口にすらしていないし、しっかりと受け止めてもらえるかもしれないのに、マイナス思考にとらわれて、思いを伝えることができない日々が過ぎていきました。この時期は学校での友達関係や部活のことなどで悩んでしまい、とてもつらかったです。

私はそのことを家族に相談してみました。すると父がひとつの動画を見せてくれました。それは、APPLEの創業者の一人であり、起業家のスティーブジョブズさんが、スタンフォード大学の卒業式でスピーチした動画でした。

「時間は限られています。誰か他の人の人生を生きることで時間を無駄にははいけません。他人の意見という雑音に自分自身の心の声をかき消されないようにしましょう。自分の心と直感に従う勇気をもつことです。」

というメッセージでした。私はそのスピーチを聞いてとても元気づけられ、自分の悩みが全て吹っ飛ばされた感じがし、すっきりしました。友達にどう思われるか、後輩からどう思われるか、ということよりも、自分の思いを正しく伝え、キャプテンとして、チームのためにできることをやろう！と思えるようになりました。伝えることは難しく、実際には上手く伝わらず、気持ちがすれちがってしまうこともあります。けれど思いを言葉にすることで、2年生の始めに私が感じていた友達との違和感は、私の単なる思い過ごしだったことが分かったり、部活動でもチームメイトが私の意図することをしっかりと汲んでくれ、スムーズに連携できる場面も増えました。

スティーブジョブズさんのように、世界中の人々の心に届くようなスピーチができなくても、自分のまわりで悩んでいる人の背中をそっと押せるような存在になりたいと思うようにもなりました。そのためには、嫌なこと、嬉しいこと、たくさんを経験し、心の強い人になりたいです。ちょっとしたことでへこんでマイナスなことしか考えられなかった私に、自分の経験を話してくれたり、私に響きそうな動画を見つけて、元気づけてくれたりする父のような温かい人にもなりたいです。私はまだまだ自分の感情を先行させてしまい、仲の良い友達には、遠慮無く言葉をぶつけてしまうときがあります。友達からの相談にもどういう風に言うと上手く伝わるか分からず、応えられないこともあります。そんな時は相手の立場になって嬉しい気持ちで励ますことができるようになりたいです。今のままの私では難しいこともありますが、なりたい自分になるために、言葉を大切に、発言していきたいです。ジョブズさんはこうもスピーチしています。

「心と直感は本当になりたい自分をどういうわけかすでに知っています。」

私自身の心の声に耳を傾け力強く日々を過ごしていきたいです。

南部Aブロック中学校新人大会 結果

【9月30日】

【野球】 会場…蛇王球場

〈リーグ戦〉 **優勝 県大会出場(2勝)**

穴喰・海陽・牟岐・日和佐 9 - 0 相生・鷺敷
(5回コールド)

穴喰・海陽・牟岐・日和佐 8 - 1 勝浦
(5回コールド)



【バレーボール】 会場…日和佐中体育館

日和佐・穴喰・勝浦・上勝 1 - 2 相生・鷺敷

【バスケットボール】 会場…海陽中体育館

〈男子リーグ戦〉 **優勝 海陽中(2勝)**

海陽 71 - 21 牟岐

海陽 135 - 15 勝浦



【卓球】 会場…相生中体育館

男子団体 優勝 海陽中(2勝)

海陽 5 - 0 由岐

[男子シングルス]

1位 竹田柊真 (海陽)

2位 山本耕誠 (海陽)

3位 奥村琥珀 (海陽)

海陽 4 - 1 上勝

[女子シングルス]

1位 伊丹絢香 (穴喰)

2位 中口梨緒 (穴喰)



【サッカー】 会場…日和佐中グラウンド

海陽・穴喰 1 - 1 日和佐
(PK 1 - 3)



【バドミントン】 会場…日和佐総合体育館

[女子シングルス] 2位 山本怜奈 (穴喰)

令和5年度 海部郡中学校駅伝競走大会 結果

【10月24日…日和佐コース】

[男子(3km)]

4位 海陽A 64分2秒

(北村悠生③、長尾一蔵③、上村京太郎③、川田陸永③、菅本晟孝②、山本耕誠①)

6位 海陽B 67分54秒

(蛭子義基①、元木わか芭③、ツレインツカ③、島田侑眞②、西岡 積①、大久保篤①)

6位 穴喰A 67分54秒

(上田悠翔②、竹内清悟③、戎谷弥雲③、小泉 純②、小南健太②、正木涼誠③)

[女子(1区3km, 2~5区2km)]

2位 穴喰A 47分34秒

(戎田花生①、白濱柚子②、戎谷貫那①、山本怜奈①、上田望央③)

4位 海陽A 48分32秒

(畠口眞凜③、中島実果②、清水夢來③、松本莉奈①、谷 彩寧①)



【ロードレース】

[男子(3km)]

3位 井上颯太(穴喰①)
(11分51秒)

6位 伊勢田海(海陽①)
(12分24秒)

10位 池田 晴(穴喰②)
(13分34秒)

[女子(2km)]

1位 西山璃桜(海陽①)
(9分57秒)

2位 谷本暖子(海陽①)
(10分35秒)

4位 北地夏帆(海陽①)
(12分35秒)

男子第74回・女子第34回 徳島県中学駅伝競走大会 結果

【11月11日…鳴門周回コース】

[男子(3km)]

41位 海陽 68分58秒

(北村悠生③、上村京太郎③、菅本晟孝②、ツレインツカ③、元木わか芭③、長尾一蔵③)

45位 穴喰 70分20秒

(戎谷春希③、上田悠翔②、竹内清悟③、戎谷弥雲③、小泉 純②、正木涼誠③)

[女子(1・5区3km, 2~4区2km)]

37位 海陽 55分49秒

(畠口眞凜③、元木 縁③、東 莉湖③、清水夢來③、中島実果②)



オリンピックによる走り方教室

令和5年9月23日(土) 穴喰小学校グラウンド
 令和5年9月24日(日) 松原町民グラウンド

2004年アテネオリンピックの陸上1600メートルリレーで4位に入賞した伊藤友広さんと、陸上元日本代表の井原直樹さんに、町内の小中高生を対象に速く走るための姿勢などを指導していただきました。

指導前に計測した50メートル走の記録と比べると、1秒近くタイムを縮めた子どももいて、短い時間でしたが確実にフォームが良くなり、指導の成果が現れました。



小学生に指導する井原コーチ



伊藤コーチと競争した小椋ジョナス伸君(海部高校2年生)



中高生に指導する伊藤コーチ

海陽町公民館交流グラウンドゴルフ大会

令和5年11月24日(金)午前9時から、今年も昨年同様、松原グラウンドゴルフ場で開催しました。海陽町公民館長の辻芳昭大会長のあいさつに続き、三浦茂貴町長の祝辞(三浦良教育長代読)を受けました。今年も穏やかな晴天に恵まれ、穴喰、海部、川上、川東、浅川の各地区から73名が出場し、松林に囲まれたコースの中で3ラウンドを競い、プレーを楽しみながら交流しました。今年も開催にあたり、グラウンド整備等にご尽力頂いた皆様に、心からお礼申し上げます。



【成績結果】

	1ラウンド	2ラウンド	3ラウンド	ホールインワン	合計打数	
優勝	柴田 京子(浅川)	21	17	13	3	51
準優勝	島田 勝(川東)	20	15	17	2	52
3位	前川 清和(川上)	21	17	16	3	54

海部郡少年野球新人大会・大石杯・牟岐町文化祭少年野球大会

11月26日(日) 於：牟岐中学校グラウンド

【決勝：海部クラブ 2 - 4 日和佐バロンズ】

準優勝：
海部クラブ



第18回海陽町体育協会軟式野球一般大会

12月3日(日) 於：蛇王球場

【決勝：タイガーラビッツ 5 - 1 海部クラブ】

準優勝：
海部クラブ



海部郡小学生バレーボール新人大会

12月9日(土) 於：海南小学校体育館

優勝：
穴喰杉の子



穴喰杉の子	21-5	日和佐
	21-7	J.V.C.

穴喰杉の子	21-8	海南
	21-7	バンビーズ

日和佐 J.V.C.	21-19	海南
	14-21	バンビーズ
	15-12	

海陽町体協サーフィン部 NEWSと試合結果

2023年9月～

NEWS

*** 8月27日 かいようサーフィン体験が開催**〈主催：愛あいクラブ 協賛：体協サーフィン部〉
東洋町生見海岸で開催され、たくさんの子供たちがサーフィン体験を楽しみました。



試合結果

<プロ・アマチュアミックスの試合>

* シャルガオインターナショナルサーフィンカップ

10月26日～11月1日 フィリピンシャルガオ島 クラウド9ポイント
メンクラス 2位 安室 丈

* 第52回秋季全日本学生サーフィン選手権

10月21日～22日 千葉県鴨川市マルキポイント
スペシャルクラス 優勝 金沢 呂偉 (日本大学2年)

* マノクワリプロ

11月29日～12月3日 インドネシア西パプアアンバンビーチ
メンクラス 優勝 金沢 呂偉 (日本大学2年)

* マノクワリプロジュニア

11月29日～12月3日 インドネシア西パプアアンバンビーチ
ジュニアクラス 3位 金沢 太規 (海部高校2年)



マノクワリプロ優勝
金沢 呂偉選手



高知県知事杯優勝
野中 溪佑

<アマチュアの試合>

* 第57回全日本サーフィン選手権大会

9月30日～10月6日 宮崎県木崎浜海岸
ジュニアクラス 4位 金沢 太規 (海部高校2年)
メンクラス 3位 野中 溪佑
ウイメンクラス 2位 上門 涼風

* 高知県知事杯サーフィン大会

10月29日 高知県黒潮町浮鞭ポイント
スペシャルクラス 優勝 野中 溪佑

※前回号 (No.98) 掲載記事に氏名の間違ひがありました。
正しくは、森永健太郎さんです。たいへん失礼いたしました。

スポーツ推進委員活動報告

○第77回全国レクリエーション大会2023inとくしま

令和5年9月15日(金)～17日(日) 於：徳島文理大学



パネリストの靄さん

全国から1万人を超えるスポーツ・レクリエーション関係者らが徳島県に参集しました。

研究フォーラムでは、スポーツ推進委員（海陽愛あいクラブマネージャー）の靄 真美さんがパネリストとして登壇し、愛あいクラブ誕生の背景と活動内容、スポーツ団体との連携・協働活動、コロナを機にスポーツDXを導入した経緯などを発表しました。

○第64回全国スポーツ推進委員研究協議会 青森大会

令和5年11月16日(木)～17日(金) 於：リンクステーションホール青森

スポーツ推進委員の若井孝司さん、櫛田恵子さん、佐藤徳美さん、井花圭子さんが研究協議会青森大会に参加してきました。

全国のスポーツ推進委員が一堂に会し、スポーツ推進委員の目指す方向や地域スポーツの課題について研究協議してきました。



左から 井花さん、櫛田さん、若井さん
(撮影・佐藤さん)



福土加代子さんの講演

○徳島県スポーツ推進委員連絡協議会表彰



左から佐藤さん、石野さん

令和5年12月10日(日) 於：四国大学

スポーツ推進委員活動年数が10年以上の者が表彰の対象で、石野美賀さん（活動年数17年）、佐藤徳美さん（活動年数17年）が表彰されました。

穴喰俳句会 十二月例会より

やがて去るこの世に残す莖の石	住登美鶴
旅の空会釈こぼるる良夜かな	山本球子
何食べよひとり居秋のひとりごと	梅田千恵子
先着の人等憩えり紅葉山	川野佳代
天高し日本中心世界地図	新井駿也
大根を山と積みたる猫車	新井久実
遺されし母の鉢植雪ばんば	元木朱子
岩陰の錆びし塩釜石路の花	高戸眞理子
リコリスの花の名を知る十二月	長岡達江
空き家の灯点くはずもなく秋の暮	西本公明
しあわせと一人で思う柚子たわわ	寺崎照代
冬来る声出して読むヨハネの書	間戸谷恵子
手に土の湿りと温み大根引く	外山千佳
冬空や青一色に銀のへり	朝賀ます美
冬紅葉軍人墓地へきてみれば	木下野生

海南俳句会

冬日和ただ風ばかり謳つてる	山本達平
綿虫やけふの気温は十八度	田中霜月
冬草の緑おちこち木の陰に	橋本 董
風波にまかせて浮かぶ鴨三羽	藤川はやみ
支へたる橋脚巨大冬の瀬戸	谷崎丈雄
住所録開きて師走となりにつけり	新居利之
返り花日当りの良き山裾に	吉田なずな

令和5年、海陽町文化祭俳句大会第1回は、応募総投句数66句に対し、各自5句ずつ互選により選句しました。

11月4日当日、投句者全員に参加賞、柳後亭其雪賞として総合得点上位5名と作品上位(高得点句)5名に、賞状を授与しました。



文化祭俳句大会より

海部俳句会

四句八句もはやここまで二月尽

津田 一

無二の友亡くせし年も暮れゆきぬ

西本 公明

河口うずむ野鳥ゆらゆら水温む

南 歌子

教会に行く道すがら冬の虹

元木 美枝子

日記帳空白の日の重さかな

川野 照美

令和なり山寺坊主ななつ百回忌

佐藤 美代子

幼子の眠そうな顔冬に入る

穴戸 道子

風雪に振り回されし焚火かな

濱川 雅男

受け継ぎし畑に感謝の柚搾り

村田 恵巳

やつこ草やつとこさあとやつてそう

穴戸 保夫

Taking a moment to reflect on my life,
Among the many old photos I came across my father
煩惱に父の面影冬の雷
関山 無門

海陽短歌会

他人ごとと思いながらも見入りたり大谷翔平入団会見

蛭子美恵子

初めてのレインボー劇に感動し「シロが鳴いた海」いまだ忘れず

柙岡 節子

曼珠沙華咲けば想わる遠国へ追われし「ジャガタラおはる」の涙

細野 綾子

鈴ヶ峯念願かない登りたり見下ろす那佐はにび色の海

小笹 仁子

一掛けの干柿二人で分けおうて渋はむけたか試し食いする

桑村 未貴子

柿の実と碧き空とのハーモニー中秋にみる美しき一齣

大久保スエ子

語り部のごとくに波は寄せ返し日ごとにちがう姿見せおり

土谷 公代



芭蕉句碑 (穴喰)



芭蕉句碑 (浅川)

令和5年度

「学びから始まる地域づくり」

～特色を活かした地域づくり～

● 令和6年 **3**月**3**日(日)

● 会場 海南文化館ホール

● 日程 9:30～10:00 受付
10:00～10:20 開会行事
10:20～11:50 講演
休憩・昼食
13:00～15:50 芸能大会

講演演題

「伝統芸能を活かした地域の活性化」

～「藍玉獅子」復活と継承の取り組み～

石井町教育委員会社会教育課
社会教育指導員 片岡 伸世 氏

【プロフィール】

平成22年から6年間、石井町公民館高原分館分館長
平成28年より石井町教育委員会 社会教育指導員として
石井町中央公民館に勤務 現在に至る。



石井町ふるりの歴史を学ぶ会事務局／石井町文化財ボランティアの会事務局
高原藍玉獅子保存会事務局／高原分館運営協力委員
石井町青少年健全育成会高原支部役員

※公民館大会は、どなたでも自由に聴講や観覧ができます。

海陽町公民館大会

主催：海陽町公民館
後援：海陽町教育委員会・海陽町